

January 13, 2021

【前日の為替概況】米 10 年債利回り低下でドル安、対円 103.72 円、対ユーロ 1.2210 ドル

12日のニューヨーク外国為替市場でドル円は5営業日ぶりに反落。終値は103.76円と前営業日NY終値(104.26円)と比べて50銭程度のドル安水準だった。米10年物国債利回りが一時1.185%前後と昨年3月19日以来の高水準を付けたことを受けて、円売り・ドル買いが先行。24時前に一時104.33円とアジア時間に付けた日通し高値に面合わせした。

ただ、好調な米10年債入札をきっかけに債券を買う動きが強まると、米長期金利が低下に転じたため、一転ドル売りが優勢に。前日の安値103.74円を下抜けて、6時前には一時103.72円まで値を下げた。

ユーロドルは4日ぶりに反発。終値は1.2207ドルと前営業日NY終値(1.2151ドル)と比べて0.0056ドル程度のユーロ高水準だった。米長期金利の上昇などが相場の重しとなり、一時1.2137ドルと日通し安値を付けたものの、前日の安値1.2132ドルが目先サポートとして意識されると買い戻しが優勢に。米10年物国債の入札が堅調だったことを受けて、米金利が低下すると全般ドル売りが活発化し一時1.2210ドルと日通し高値を更新した。

ユーロ円は小幅ながら3日続落。終値は126.66円と前営業日NY終値(126.69円)と比べて3銭程度のユーロ安水準となった。ただ、NY市場に限れば狭いレンジでのみみ合いに終始した。ドル円とユーロドルの値動きの影響を同時に受けたため、相場は方向感が出なかった。

ポンドは全面高。ポンドドルは一時1.3670ドル、ユーロポンドは0.8921ポンドまでポンド高に振れたほか、ポンド円は一時142.03円と昨年9月1日以来の高値を更新した。ベイリー英中銀(BOE)総裁はこの日、国内で新型コロナウイルスの感染が再拡大していることを受けて、「英経済は非常に難しい局面にあり、将来の景気回復に遅れが出る」と述べた一方、マイナス金利政策については「成長押し上げに直接つながる措置ではない」として「多くの問題がある」との考えを示した。市場ではマイナス金利導入の思惑が浮上していただけに、これまでのポンド売りを巻き戻す動きにつながった。

【本日の東京為替見通し】ドル円、米 10 年債利回り低下を受けて伸び悩み展開か

本日の東京外国為替市場のドル円は、米10年債利回りの低下を受けて上値が重い展開が予想されるものの、明日予定されているバイデン次期米政権による追加経済対策の発表やパウエルFRB議長の講演への期待感から下値は限定的だと予想される。

ドル円の一見均衡表のテクニカル分析では、三役逆転の売りの時代となっており、抵抗帯である雲(104.32円-104.65円)が上値を抑える展開となっている。

ドル円のオーダー状況は、上値には、雲の中の104.40円にドル売りオーダー、超えるとストップロス買い、104.50円、104.60-80円にも断続的にドル売りオーダーが控えている。下値には、一目・転換線の103.50円、103.20円、103.00円にドル買いオーダーが控えている。

今年のドル円が102.59円から104.40円まで上昇した背景としては、5日のジョージア州上院議員決選投票でブルーウェーブが実現したことで、追加景気刺激策への期待感が高まり、米主要株式3指数が史上最高値を更新し、米10年債利回りが0.90%台から1.18%台まで上昇したことが挙げられる。しかしながら、昨日は好調な米10年債入札を受けて米10年債利回りが1.12%台まで低下したことで、ドルは全面安の展開となっている。

バイデン次期米大統領は、12月の米雇用統計を受けて一段の新型コロナウイルス対策が必要なことが示されたとして、明日、数兆ドル規模の追加経済対策を発表する。内容は、1人2000ドルの現金給付、失業給付の特例支給の延長、ワクチンの供給拡大を含む州・地方政府への支援、ワクチン普及対策費などが盛り込まれることが予想されている。さらに、パウエルFRB議長の講演も予定されていることで、米国の財政・金融面からの景気刺激債が期待できることで、ドル円の下値は限定的と思われる。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

○08:50 ◇ 12 月マネーストック M2 (予想: 前年比 9.2%)

<海外>

○16:00 ◇ 12 月独卸売物価指数 (WPI)

○16:00 ◇ 11 月トルコ鉱工業生産 (予想: 前月比 0.8%)

○17:30 ◎ ビルロワ・フランス中銀総裁、講演

○18:00 ◎ ラガルド欧州中央銀行 (ECB) 総裁、質疑応答に参加

○19:00 ◎ 11 月ユーロ圏鉱工業生産 (予想: 前月比 0.2%/前年比▲3.3%)

○未定 ◎ ポーランド中銀、政策金利発表 (予想: 0.10%で据え置き)

○21:00 ◇ MBA 住宅ローン申請指数

○22:30 ☆ 12 月米 CPI (予想: 前月比 0.4%/前年比 1.3%)

☆ エネルギーと食品を除くコア指数 (予想: 前月比 0.1%/前年比 1.6%)

○23:30 ◎ ブラード米セントルイス連銀総裁、講演

○14 日 00:30 ◇ EIA 週間在庫統計

○14 日 03:00 ◎ 米財務省、30 年債入札

○14 日 03:00 ◎ ブレイナード米連邦準備理事会 (FRB) 理事、講演

○14 日 04:00 ◎ 12 月米月次財政収支 (予想: 1445 億ドルの赤字)

○14 日 04:00 ◎ 米地区連銀経済報告 (ページブック)

○14 日 04:00 ◎ ハーカー米フィラデルフィア連銀総裁、講演

○14 日 05:00 ◎ クラリダ FRB 副議長、講演

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

12 日 06:37 バーキン米リッチモンド連銀総裁
「米経済は上半期に落ち込むものの、下半期は非常に強くなる見通し」
「前年のインフレ率低下で、第 2 四半期には上昇する見通し」
「財政支援が数年にわたって消費支出を押し上げることを期待」

12 日 08:15 カプラン米ダラス連銀総裁
「2021 年の GDP 伸び率は 5%程度と予想」
「1-3 月期の GDP はおそらくプラス成長となるだろう」
「米国でのマイナス金利導入には強く反対」
「新政権がさらなる刺激策を打ち出せば、金融政策の要因になる可能性」
「失業率は年末までに 4.5-4.7%に低下を予想」

12 日 09:03 米政府高官
「トランプ大統領とペンス副大統領は任期終了まで国家のために職務を遂行すると約束」

12 日 10:33 菅首相
「関西 3 府県を緊急事態宣言の対象に追加する方針」

12 日 10:59 メキシコ保健省のロペス・ガテル次官
「2400 万回分のロシアの新型コロナワクチン(スプートニック V)を使用可能」

12 日 12:01 トム・リード米共和党下院議員
「米下院共和議員団、議会乱入事件巡りトランプ大統領の問責決議案を 12 日に提出する準備」

12 日 15:46 シュナーベル欧州中央銀行(ECB)専務理事
「インフレは死んでいない」
「グローバル化は、価格の動向に影響を与えている」
「2021 年にはインフレが急上昇すると予想」

12 日 18:22 ベイリー英中銀(BOE)総裁
「マイナス金利の問題点が多い」
「マイナス金利が現実的かどうかについて多くのことに取り組んでいる」
「金利の見通しは生産性の向上に左右される」

12 日 19:18 ブロードベント BOE 副総裁
「失業は経済のたるみを測るうえでもっともベストな指標」
「インフレ見通しを予想することは困難」
「第 4 四半期 GDP は前年比で 10%低下すると予想」
「パンデミックによるインフレ低下の影響は予想よりは小さい」

12 日 19:18 トランプ米大統領
「暴力は決して望んでいない」
「弾劾計画には激しい怒りを覚える」

13 日 00:28 ポスティック米アトランタ連銀総裁
「インフレがどれほど強く反発するかを注視」
「米国が 2%のインフレに早く到達することを望んでいる」
「ベーシックインカム議論は常識外れではない」

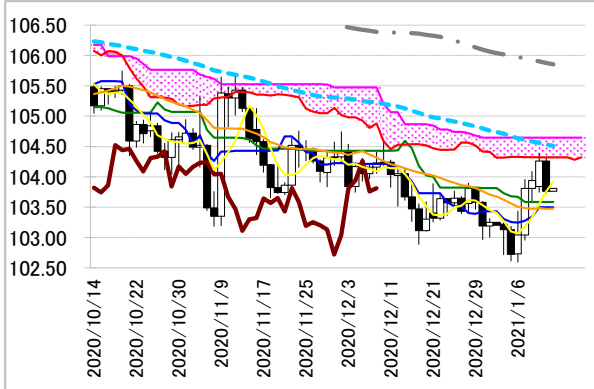
13 日 02:12 メスター米クリーブランド連銀総裁
「中期的な見通しが損なわれない限り、金融政策を変更する必要はない」
「経済への持続的なダメージを抑制するためには、金融政策と財政政策の両方が必要」
「見通しには著しい不確実性がある」
「幾分下振れリスクが軽減された」

13 日 03:07 ジョージ米カンザスシティ連銀総裁
「継続的な景気回復に対して概して楽観的」
「緩和的な金融政策スタンスは適切」
「金融スタンス変更のタイミングを推測するには早過ぎる」
「インフレ率が 2%を超えても、FRB は対応しないだろう」
「FRB はインフレを抑制することが極めて可能。問題はどの時点で、どのように」
「我々は失業と成長に対する新政権からの新たな政策の影響を注視」

13 日 03:13 ブラード米セントルイス連銀総裁
「2021 年の見通しは非常に強く、トレンドを上回るだろう」
「昨年の米 GDP は▲2.5%となる見通し」
「インフレはやや上昇するだろう」
「失業率は今年、5%を下回るだろう」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

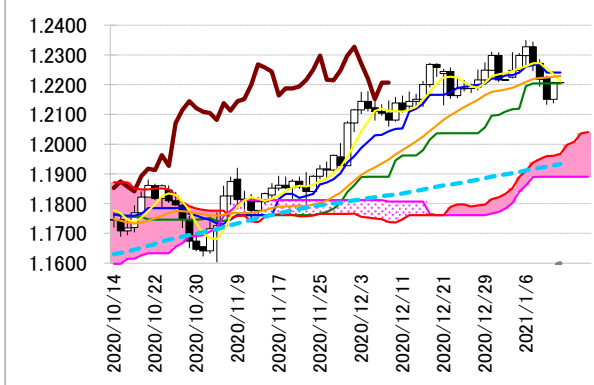


<ドル円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯した。4手連続陽線で雲を上抜けることが出来ず、抱き線で反落したものの、転換線を上回って引けていることで、反発の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	104.32(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	103.76
サポート1	103.50(日足一目均衡表・転換線)
サポート2	102.59(1/6 安値)

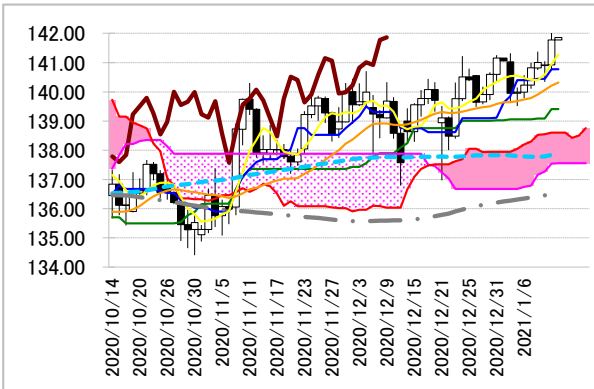


<ユーロドル＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。高値圏での3手連続陰線で反落した後、孕み線で反発したものの、転換線を下回って引けていることで反落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.2241(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	1.2207
サポート1	1.2132(1/11 安値)

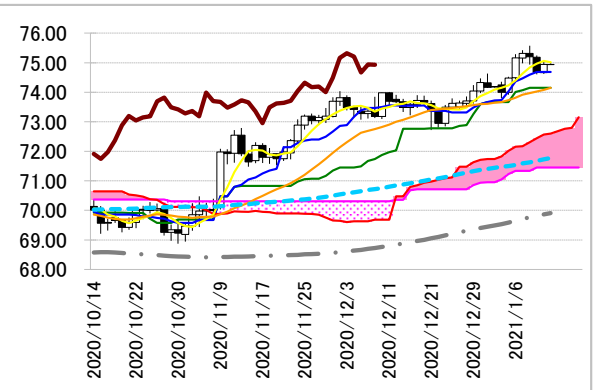


<ポンド円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。6手連続陽線でかつ転換線を上回って引けていることで続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	142.03(1/12 高値)
前日終値	141.78
サポート1	140.77(日足一目均衡表・転換線)



<NZドル円＝基準線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。高値圏での2手連続陰線で反落後、孕み線で転換線を上回って引けていることで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、基準線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	75.58(1/8 高値)
前日終値	74.94
サポート1	74.15(日足一目均衡表・基準線)

